

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

別府、他 1 名

2. 山行スタイル

雪山

3. 目的

厳冬期の光岳を登頂し、避難小屋に宿泊する

4. 山域／ルート

南アルプス

5. 交通手段

車

6. 行動記録

<入山日 2023 年 2 月 26 日 /下山日 2023 年 2 月 27 日>

第1日

(05 時 30 分)赤沢ゲート発～(06 時 30 分)易老渡～(12 時 30 分)易老岳～(14 時 00 分)三吉平

～(15 時 30 分) 光岳小屋

///後、夕刻に日の入り時刻に合わせて光岳ピストンを実施///

第2日

(04 時 00 分) 起床～(05 時 30 分) 小屋発～(06 時 00 分) イザルガ岳 ご来光待ち～
(07 時 15 分)三吉平～(08 時 30 分)易老岳～(12 時 00 分) 易老渡～(13 時 00 分)
赤沢ゲート着

7. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

ほぼ予定通りの日程で遂行できた。

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

易老渡～易老岳間の 1800m 付近。薄雪の下がアイスバーン状態でアイゼンが全く効かない区間が 200m 程度続いた。往路、復路、ともに細心の注意と丁寧な足運びを強いられた。実際、すれ違った下山中の登山者は転倒し暫く立ち上がれない程に腰辺りを強打していた。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

こちらは日月を利用した山行。一方、天気も良かった事から、土日を利用した先行者のパーティーが 3 組程度居り、トレースを利用させて頂いた。それでも行程は長く体力的には厳しい状態だった

のだが、ノートレース状態だったらば、と想像するだけで嘔吐しそう。
体力の向上を図るべし、またザックの軽量化も改善の余地がある、との結論に達した。

8. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

特にありません。

9. 感想

ヤマップをはじめ、最近の山行記録が無い状態。不安でしたが、無事に登頂出来て良かった。
両日ともに好天でほぼ無風状態で最高の山行となりました。避難小屋泊も初体験でしたが、
県営という事もあって(?)非常に綺麗な部屋で快適な時間を過ごす事ができました。
最後に、富士山の山容は、やはり心にグッとくることを改めて感じました。

報告者氏名 別府 篤史 2023年 3月 4日